

ともだちいっしょでうれしいねん

さいじ
4歳児

自分で自由に移動することが難しいな。6月から女の子のなぎさが仲間入り。なぎさが来ると嬉しいりなの姿がありました。この日も少し離れたところになぎさがいて、それをりながわかっていて嬉しそうなお表情をしていた時。

りな 嬉しそうなお表情で手を動かしている

なぎさを探しているように感じた保育者が

保育者 りなちゃん なぎさちゃんきてるよ
さわってみたらどうかしら

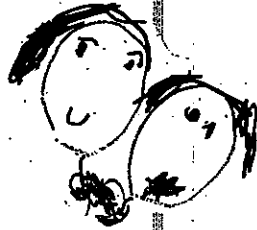
りなは手を大きく動かし なぎさに手が届く

りな にっこり笑う

保育者 なぎさちゃんきてるね うれしいね

りな 笑いながら しばらく手を大きく動かしていた

友達と一緒にいることが嬉しいという喜びを表情や手の動きで知らせてくれました。



ふたりでパパしたら

さいじ
3歳児

給食を食べながら、パーペキューごっこで何の役をやりたいかの話になった時。

はずき パパがいい

あいみき いいよ

つよし つよしちゃんもパパがいい

あい はずきちゃんがパパやで
つよしちゃんはおにいちゃんにしたら？

つよし パパがいいの！

みき じゃあふたりでパパしたら

つよし うん(笑顔)

友達が思いを受け止めてくれたことで笑顔になりました。



いこいこ

さいじ
0歳児

夕方、順次降参する子を見て寂しくなり、泣いているなつこ。

なつこ えーん

さなこがなつこに近づき 顔をなでる

さなこ いこいこ(いこいこいこ)

なつこは少しずつ落ち着いてきた

保育者やおうちの人にしてもらったように、友達を気にする姿が育ってきています。

どきどきしたけれど

さいじ
4歳児

初めて訪問した高齢者施設からの帰り道。

こうき めっちゃどきどきしたなー
でも 楽しかったわ

みか うん また行きたい！

こうき だってな 何回も

「かわいいなあ すごいなあ」って 言ってくれたやろ
嬉しかったわ

みか うん 嬉しかったね！

とても緊張して震えて、なかなかおじいちゃんおばあちゃんのそばには行けなかったこうき。色々なことを感じていたようです。



むしさ〜ん！

さいじ
2歳児

ダンゴムシをバケツに入れてもらって嬉しそうにあげる。

ダンゴムシに呼びかけたり葉っぱを入れてあげたりしていた時。

しげる むしさ〜ん！

あっ！ひっくりかえった！

どうしたのかなあ おむつかえてほしいのかなあ

虫も生きている事に気づき、自分達と同じように感じています。



第26回 子どものつばやき

令和元年度(2019年度)



21世紀を になう子どもたちに

次代をになう子ども達が、生き生きと、健やかに育ち、力を合わせて明るい未来をつくりあげてくれることを誰もが望んでいます。しかし、世界はもちろん、日本においても様々な差別に苦しみながら生活をしている子ども達があります。「子どもの権利条約」にみられるように、子どもが一人一人人間として尊ばれ、よりよい環境の中で成長・発達できるようにしていくことが重要な課題となっています。

豊中市では、平成25年(2013年)4月に「豊中市子ども健やか育み条例」を制定し、子ども一人一人が健やかに育ち、そして、子どもや子育て家庭に関わる全ての人がつながり、社会全体で子どもを愛情深く育む地域社会の実現をめざしています。

就学前施設では、「豊中市人権保育基本方針」にもとづき、一人一人の子どもの人権を大切にすることを基本に、すべての子どもに豊かな感性を育てお互いを大切にすることを培い、人権尊重の基礎的な資質を養うことをめざした人権教育・保育をすすめています。

「子どものつばやき」は、人権教育・保育の中で大切にしてきた取り組みの一つです。



豊中市子ども未来部 ともだち部 ともだち部

元気ないなあ

3歳児

クラスで飼っているカブトムシが、あまり動けなくなったのを見ていた時。

えいすけ　なんか動いてないなあ
いたる　えーでも昨日元気やったで
えいすけ　そうなん ちょっと動いていただけ
 やっぱ元気ないなあ



いたる　かわいそうやな

周りの友達もカブトムシの元気がないことを知り、心配していました。

ひとりにひとつ

4歳児

クラスで飼っているカブトムシが死んでしまった時。

のりこ　カブトムシ死んじゃったな
きみえ　もう動かへんなあ
ひとみ　せやでひとりにひとつの命しかないねんで
 のりこちゃんも きみえちゃんも ひとみちゃんも
 ひとつの命や
まさこ　じゃ大事にせなあかん
 ひとりにひとつの命 大切にする

ひとみは、お家でカブトムシを飼っていて、死んでしまった時に、ひとみのババが「ひとつのものに、ひとつの命しかない」と教えてくれたそうです。

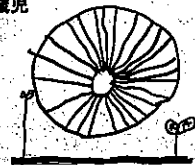
カブトムシだけでなく、自分の命も「ひとりにひとつ」ということに気づき、命に関係する絵本を読む時や平和のついでも、この言葉が台言葉のように聞かれるようになりました。

おかえり～!

3歳児

園庭でアゲハチョウが飛んでいるのを見つけた時。

かずや　あっ!
 チョウチョさんだ～!
 おかえり～!



クラスで育てていたアゲハチョウを、みんなで遊がしたことを覚えていて、帰ってきたと嬉しかったようです。

好きな色やからいいやん!

5歳児

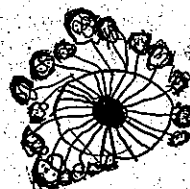
ランドセルが届いたという話をしている時。

ゆう　家にランドセル届いてん
あい　私も買ったよ!
えみ　ランドセルの色 何色?
ゆう　黒～!!
あい　水色やで!
えみ　水色って 男みたいやな～
ゆう　男じゃないやん～
 あいちゃんの好きな色なんやから いいやん!
けん　ゆりぐみの色も水色やもん～
 水色でもええやん ぼくは 茶色にしたよ!



仲間と

つながっていきこうとする姿

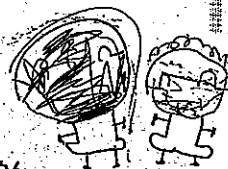


こわくないで! おもしろかったやん!

4歳児

スリランカの方と交流をし、握手やタッチをして別れる時。

握手をした時 肌の色を見て
あきこ　なあ 見て 黒い
 黒いなあ 黒いからこわいで
れいこ　黒いけど こわくないで
 だって さっきおもしろかったやん
みき　そうや こわくないで
 だって さっきおもしろかったやん
あきこ　おもしろかった...なあ



交流の中ではジェスチャーで楽しくスリランカの日常生活を教え
て頂き、握手をした時に一人一人の子どもが感じたことを言葉に
しました。子ども達が感じた事から、互いの多様性を子ども達に
伝えていく教育・保育が求められると気づき、その後園では肌の
色の違う人形を遊びに取り入れたり、関連の絵本を読んだりなど
し、多文化共生保育を進めるきっかけとなりました。

カブトムシ

5歳児

クラスで育てているカブトムシの幼虫の前を通りかかったはる。カブトムシに成長した一匹を発見した時。

はる　あー!カブトムシになる!
 でも ひっくりかえってる

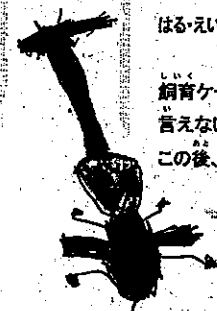
えいたを呼んでくる

はる　見て!カブトムシになってんねんけど
 起き上がれないみたいやねん 手伝ってあげようよ
えいた　あかんで

こいつは今 頑張ってるどころやねん 応援しよう!
はるえいた　ガンバレ!土蹴って あがれあがれ～!

飼育ケースに鼻をくっつけて応援している二人。後ろ姿にはなんとも
言えない一体感がありました。

この後、カブトムシは無事にひっくり返り土の中に入っていました。



戦争来るかな? 大丈夫かな?

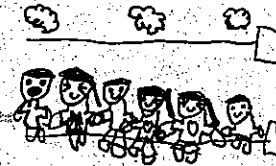
5歳児

「平和ってどんなことかな?」とグループで話し合っている時。

意見を言っていない なつとに、かずことちさが思いを聞いている。

ちさ　もし戦争があったら
 なつとちゃんの好きな虫とかいなくなって
 虫が捕まえられなくなったらどうする?
かずこ　なつとちゃんの大好きなお母さんやお父さんと
 おれなくなったらどう思う?
なつと　そんなことない!戦争は来ない!
 (しばらくして)
 なあ先生 戦争来るかな?
 大丈夫かな?

ちさとかずこは、なつとのお好きなものを知っていました。
例えに出したことで、なつとも自分の気持ちを言うことが
できました。



アンカーたのむで!

さいじ
5歳児

リレーの順番を決めるため、チーム毎に分かれ、子ども達で相談している場面。

りかとゆずがどちらもアンカーをしたくてみんなも一緒に考えていた。

まわりの子 りかちゃんもゆずちゃんもどっちもアンカーしたいみた

いやなあ じゃんけんで決める?

りか・ゆず いいよ、じゃんけんする

じゃんけんで りかが負け りかは悔しくて涙がこぼれる

りかの姿を見て 泣きながら

ゆず りかちゃん アンカーやっていいよ

りかちゃんが泣いているの 見たくないよ

りか ゆずちゃんが勝ったから アンカー頑張っ!

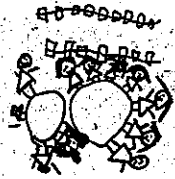
ゆず わかった

リレーでは りか・ゆずの順番になった

ゆずにバトンを手渡ししながら

りか アンカーたのむで!

ゆずに向かって叫んでいた



アンカーをしたかった気持ちを胸に、かいっぱい走り、アンカーのゆずにバトンをつないだりか。その気持ちを受け止めて、ゆずも最後まで走り切り、二人とも笑顔で退場しました。

タッチしたよ

さいじ
2歳児

視線が合うと、保育者に手をのびてくるさくら。

さくら 保育者の顔をじっと見て手をのぼす

保育者 あら さくらちゃん タッチしてくれるの?

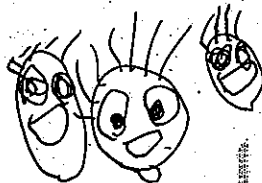
さくらの手に保育者が手を合わせる

さくら にっこりして後ろにいた母親の顔を見る

さくらの母 先生とタッチできたね

さくら 母の顔を見た後 また保育者を見てにっこりする

わが子の気持ちがわかって、共感している母と子の姿でした。



赤ちゃんっていいよな

さいじ
5歳児

けんご 赤ちゃんっていいよな

保育者 そうやね かわいいよな

けんご かわいいけどさー 赤ちゃんだったらずっと抱っこしてもらえるやん

保育者 けんごちゃんも抱っこしてほしかったら抱っこしてって言ったらいいねんで

けんご でもさー ぼく重たいしお母さんはご飯の用意とかしなあかんから忙しいもん

じゅんのおとうさん おおきいよ

さいじ
3歳児

友達のお迎えがお父さんだった時。

保育者 今日はずうちゃん お父さん迎えだね
先生まだ じゅんちゃんの

お父さんに あったことないな

じゅん じゅんのおとうさん おおきいよ
いえがつぶれるくらい おおきいよ

保育者 えー

保育者がびっくりすると のぼり棒(遊具)の上を指さし

じゅん これくらい おおきいよ

お父さんと接する時は、見上げているじゅん。
じゅんにとってお父さんは、大きな大きな存在のようです。



アンパンマンどうぞ

さいじ
1歳児

人形を友達に取られてすみこが泣いている時。

様子を見ていたえみこが、すぐにすみこの好きなアンパンマンの人形を探しに行く

えみこ あ!あ!

と言いながらすみこにその人形を渡す

すみこ 笑顔になる

えみこ すみこを見て一緒に笑う

がんばってるのに なんでわらうん?

さいじ
5歳児

みんなでとび箱に取り組んでいる時。ゆうが、とび箱を跳ぼうとしたが、うまく跳べず笑っていた。その様子を見て数人の子も一緒に笑う。

まさ いっしょうけんめい がんばってるのに
なんでわらうん?

いっしょうけんめい がんばってるから
わらうのおかしい!

まわりの子 ほんまやな~

保育者 笑われたらどんな気持ちかな?

まわりの子 じぶんがいやなことば あいてにもしたら
あかん

まわりの子 じぶんがされてうれしいことを あいてにも
しよう

まさ「おかしい!」と言ったことで、クラスみんなで考えるきっかけになりました。



先生どこ行ったん?

さいじ
0歳児

初めてのこども園生活に慣れ、好きな保育者ができ安心して過ごせるようになる。その保育者が見えなくなると探し不安になるが、戻ってくると安心する。

保育者A 給食を取りに行ってきます

ゆうじ えーん

まさる えーん

保育者B 大丈夫だよ すぐ帰ってくるよ

保育者A ただいま~

ゆうじ 泣き止み嬉しそうににっこり

まさる ゆうじの笑顔につられてにっこり

好きな人がいなくなって寂しい気持ち。

好きな人がいる安心、うれしい気持ち。

友達が泣いていると不安、どうしたのだろうと察する気持ち。

いろいろな気持ちが芽生えているようです。





「つぶやき」ってなあに

子ども達は、日ごろから友達や大人と関わって遊び、

生活する中で「嬉しいこと」「悲しいこと」「驚いたこと」

「腹が立つこと」「求めたり望んだりしていること」など様々な
ことを感じ、表現しています。

このような子ども達の「思い」を表現したものを、言葉だけでなく、しぐさ・動き・表情などを含めて、「つぶやき」としてとらえています。

「つぶやき」とおして

公私立子ども園・民間保育所(園)・児童発達支援センターな

どの就学前施設では、「つぶやき」とおして、子どもの生活や
友達への「思い」をしっかり受け止め共感するとともに、周りの
友達に伝え広げていくことを大切にしてきました。

このことは仲間とともに生きる子どもを育み、さらには、一人
一人の子どもの人権を守ることに繋がっていくと考えていま
す。

子どもの姿や思いを私達大人がしっかりとらえ、教育・
保育を見直しながら、子ども達の人権についてこれからも考
えていきたいと思えます。

ここに紹介している「つぶやき」は、「令和元年度(2019
年度)子どものつぶやき展」で展示している「つぶやき」で
す。



子どもの「つぶやき」は 明日への期待がいっぱい

不思議だねー

3歳児・4歳児・5歳児

外遊びを異年齢で楽しんでいる時

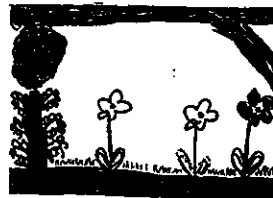
土山の上に立っている 数人の子ども達

どん うわあ！見てー

なお (空を見て)

夏だねえ…

より 不思議だねー



他の子ども 山の上に登って 空を見始めた

半分は青い空

残りの半分は真っ黒な雲がかかっていた

水たまり

4歳児

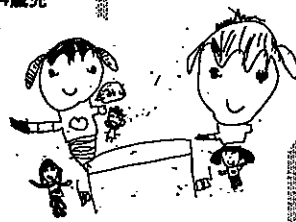
前日の雨でできた水たまりを見て…

えみ 朝あった水たまりがなくなってる！

保育者 本当だね どうしてかな？

えみ わかった！

太陽に吸い込まれたんや！



あっ！

1歳児

晴れている園庭でけんすけが歩いている時。

けんすけが影を指さして

けんすけ あっ！

その後も影を指さしながら歩いて行った

自分についてくる影に気づき、指さしながら担任にも伝えよう
としていました。

嬉しい時も 涙が出るんやで

3歳児

気持ちカード『やったー』『うえーん』『ぶんぶん』を使って、
ゆきが今日の気持ちを発表した時。

ゆき 今日の気持ちは『うえーん』です

みんな なんで？

ゆき ママといっぱいギューツつてしたからです

あい えー？『やったー』じゃないの？

かな なんで『うえーん』なの？

ゆき だって 嬉しい時も涙が出るんやで
嬉しいけど泣くから『うえーん』やねん

せんせー！せんせー！

2歳児

子ども達と園庭に出て、遊んでいる時。

保育者 さあ お外で遊ぼうね～

けい ねえ 先生…

保育者 どうしたの？

けい セミが

「せんせー！せんせー！」

って言っているね

できなくてもいいやん

5歳児

園庭でなわとびの練習をしている時。

あき (なわとびを振り回して うつむいている)

たくや どうしたん？

あき だって… なわとびできないもん…

(顔をあげない)

たくや そうなんか…でもいいやん！

あきは きょうりゅうのこと

めっちゃ知ってるんやから

あき (顔をあげる)



このあと数日してから二人一緒になわとびの練習をはじめて
いました。

「苦手なことがあってもいいやん。他に好きなこと、得意なこと
があるのだから！」とありのままを認められることで、苦手な
ことを避けたり、あきらめてしまうのではなく、友達と一緒に前
に進もうとしている姿です。